

社会保障審議会・障害者

部会第44回資料から

(その5)

平成20年11月20日

山 崎 國 治

はじめに

前回の(その4)は、「個別論点」をご紹介しました。

第44回が11月12日に開催され、「個別論点」の「追加資料」と委員提出の資料が公表されましたので、今回は、その内容について報告いたします。

(1)「個別論点・追加資料」

6頁からなっています。

①日払い方式と月払い方式との比較表に基づいて、日払い方式の合理性を説明しています。
(1頁と2頁)

②新体系移行の現状を説明。(3頁と4頁)

③就労移行支援の取り組みを紹介。(5頁と6頁)

(2)委員からの提出資料

①財団法人日本知的障害者福祉協会(11月6日提出分)

★平成23年度(平成24年3月)移行期限の延長を要望。

★7項目に及ぶ項目について、現状・問題点・要望を記述。

★知的障害者支援(SIS)の概念(アメリカ知的発達障害協会)を紹介。

②全国社会就労センター協議会(平成20年11月6日提出分)

③財団法人日本知的障害者福祉協会からの追加要望(11月12日提出分)

★サービス体系に係る追加要望

(最後の2頁は、①の図と重複しています)

④地方からの提言・千葉県知事 堂本暁子(再提出11月12日)

★前回の第43回に提出された内容と全く同じです。

おわりに

会議の記事録を読んで、審議の内容を知ること大切ですが、委員からの提出資料は、所属団体の意向を知るためにも貴重な資料となります。

厚生労働省のホームページの社会保障審議会・障害者部会の項目で読むことができます。

—了—